

### 3 同定方法

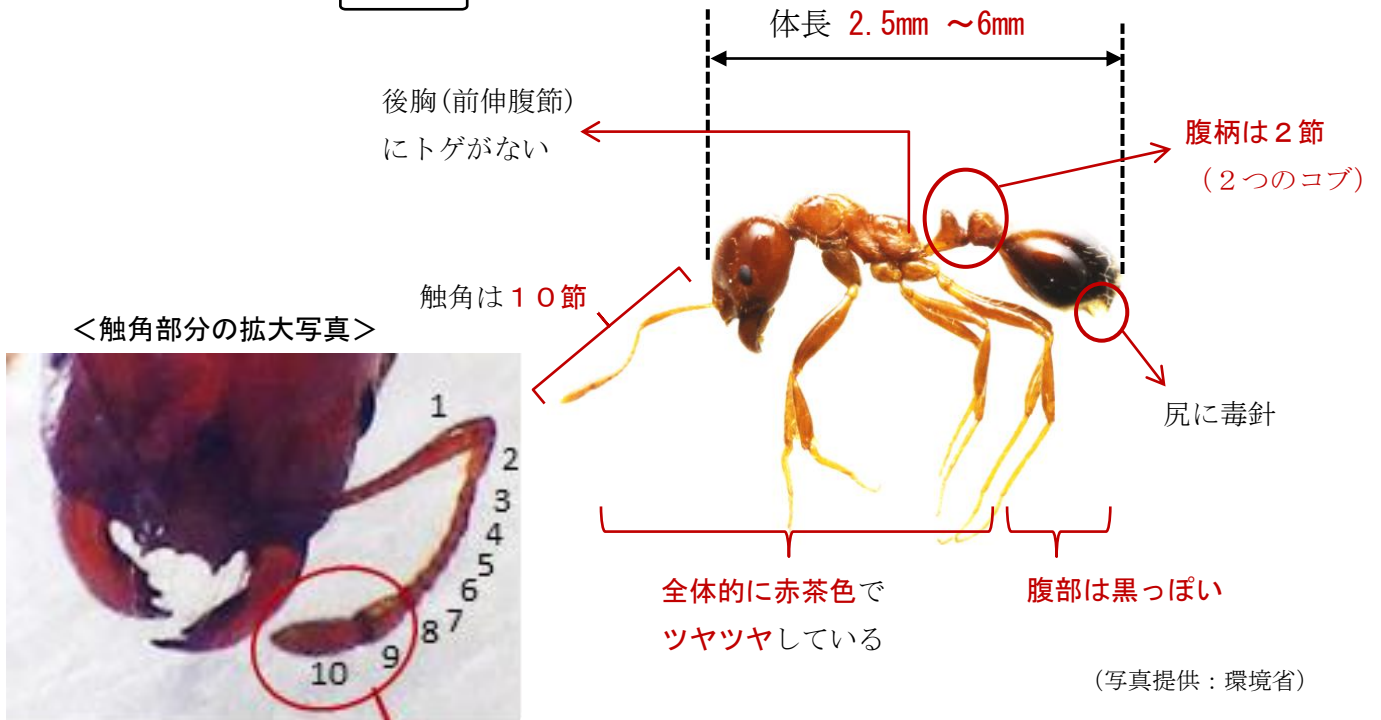
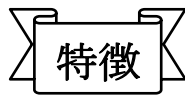
ヒアリの同定は基本的に専門家でないといけません、肉眼（あるいはルーペ等を使って）でも、ヒアリの可能性はあるかどうかある程度絞り込むことはできます。ここでは、疑わしいアリ類（働きアリ）が発見された時の簡易同定（スクリーニング）の方法を紹介します。

なお、より詳細なヒアリ同定の方法が必要な場合は、環境省作成の「ヒアリ同定マニュアル」を併せてご覧ください。

(環境省ホームページ <http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/fireant/hiaridoutei.pdf>)

注) 女王アリや雄アリは、形状や大きさも働きアリとかなり異なりますので、ご注意ください。

#### <ヒアリの特徴>



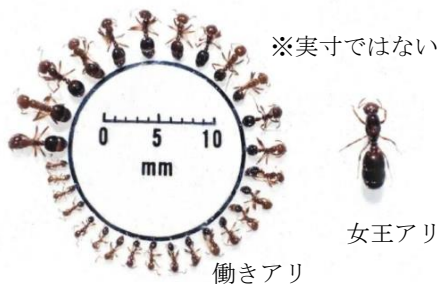
#### <触角部分の拡大写真>



(環境省提供)

先端2節はこん棒状で大きい(全部で10節)

※ちなみに、女王アリの場合は全部で11節



※ 2.5mm~6.0mm と大小様々な働きアリが混在しているのが特徴

## <肉眼で見分ける場合のポイント>

肉眼で見た場合、次の点を確認してください。

### ①大きさ

★ヒアリの働きアリの大きさは不揃いで、2.5mm～6mmまで連続的に小さいものから大きいものがあります。<複数～集団で発見した時に注意！！>

### ②体色など

★全体的に赤茶色で、腹部だけがやや黒っぽい褐色をしています。  
★全体的に光沢があり、ツヤツヤしています。

※次に該当する場合はヒアリではありません！

- △ 体全体が黒い
- △ 頭部が黒く、胸部が赤っぽい
- △ 2.5mm以下の小さいアリ
- △ 体に光沢（ツヤ）がない
- △ 毛に覆われている

## <ルーペなどで見た場合のポイント>

ルーペや実体顕微鏡などが無い場合、接写機能のついたデジタルカメラで確認したい部位を撮影して、拡大して見れば判る場合もあります。

判る範囲で確認してください。

### ③形態（※前頁の特徴を参照）

★腹柄が2節になっています。（コブ状に2つ見えます） →比較的判り易いです！  
★触角先端のこん棒部分（他より大きい節）が2節になっています。  
★触角は全部で10節あります。（頭部付け根の長い節を含む）  
★腹柄のすぐ上の後胸部分（前伸腹節）にトゲ（左右1対の2つのトゲ）がありません。

※在来種のトフシアリは、③の形態を満たしますが、体長1.5mm程度とヒアリに比べて小さく、体色は黄色から黄褐色であり、ヒアリと区別できます。

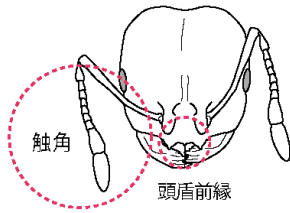
## ○アカカミアリ

ヒアリと同じ特定外来生物に指定されている「アカカミアリ」は、ヒアリと同じトフシアリ属に属しており、極めて似た特徴を持っています。

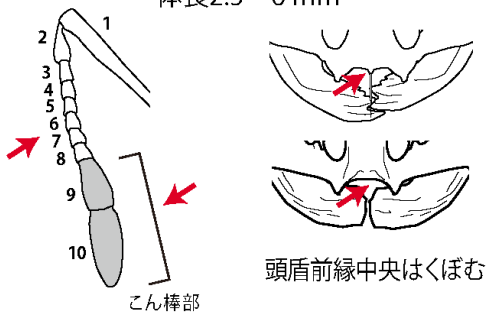
アカカミアリはヒアリに比べて頭部が大きく全体に黄色がかった褐色をしています。色では見分けにくい場合が多いです。いずれにしても防除対象であり、発見した場合はすぐに環境事務所や県、市町村等の関係機関に連絡してください。

# ヒアリやアカカミアリと間違えやすいアリの見分け方

トフシアリ属 (Solenopsis)  
ヒアリやアカカミアリのなかま

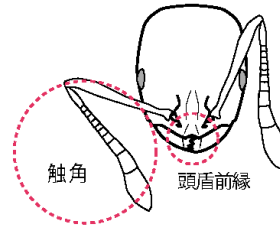


体長2.5~6 mm

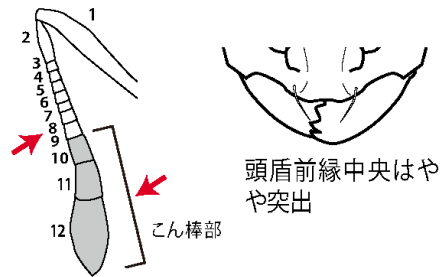


触角は10節で、こん棒部は2節

ヒメアリ属 (Monomorium)  
ヒメアリのなかま

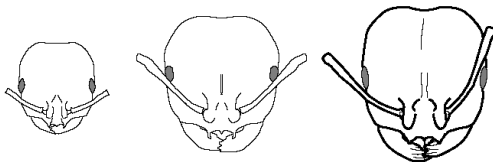


体長1.5~4 mmの小型のアリ

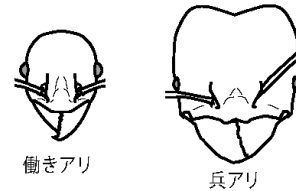


触角は12節で、こん棒部は3節(まれに不明瞭なこともあるが、2節にはならない)

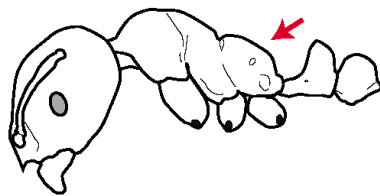
オオズアリ属 (Pheidole)  
オオズアリのなかま



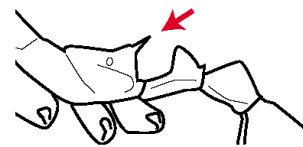
働きアリは多型で、一つの巣に小型から大型まで連続した大きさの働きアリがいる



働きアリは2型. 体長は兵アリ体長4.5mm, 働きアリ体長3 mmほど



後胸にトゲがない

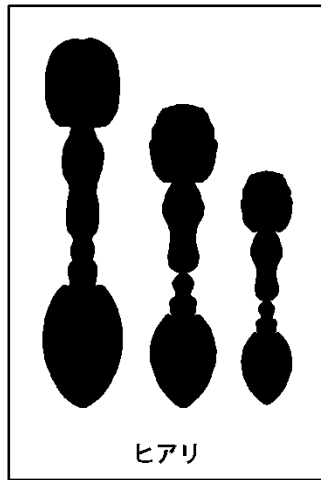


後胸にトゲがある

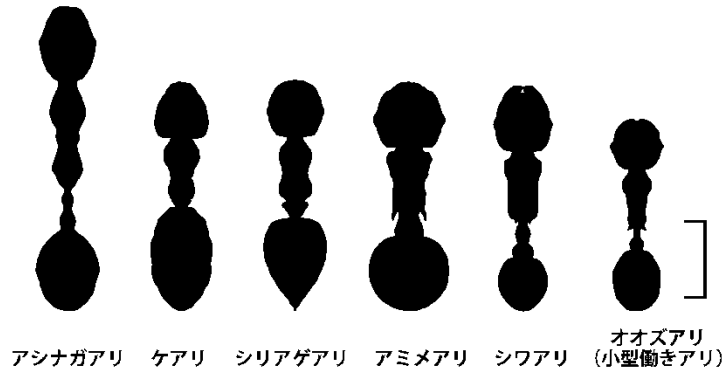
by 橋本佳明 (兵庫県立大/兵庫県立人と自然の博物館)

※出典：橋本佳明 兵庫県立大/兵庫県立人と自然の博物館  
「ヒアリやアカカミアリと間違えやすいアリの見分け方」

# よく目にする在来アリとヒアリの肉眼でわかる違い



## よく目にする在来のアリ（本州・関西圏）



### ヒアリの働きアリ

- ・赤茶色のアリで，体表にシワや点刻がなく，光沢がある
- ・2.5mm から 6mm ぐらいまで，いろいろな大きさのアリがいる
- ・胸部にトゲなどはなく，シルエットはほっそりしており，華奢な体型をしている

### よく目にする在来アリ

**アシナガアリ**：茶色から黒茶色のアリ。頭部や胸部にはシワや点刻があり，ヒアリのよ  
うな光沢はない。頭部はヒアリのように丸くなく，細長い。大きさはバラつかない

**ケアリ**：黒色のアリ。腹柄節が1節で，ヒアリに比べてずんぐりしたシルエットをしている。  
大きにバラつきはない。

**シリアゲアリ**：茶色から黄色のアリ。腹部を上部から見ると，ヒアリのように卵型では  
なく，三角形をしていることと，腹部を背中側から頭部方向に曲げる行動で見分ける  
ことができる

**アミメアリ**：茶色のアリ。胸部に網目状のシワがあり，ヒアリのような光沢はない。  
胸部前方は角ばり，腹部側にはトゲがある。ヒアリよりもがっしりとしたシエ  
ットをしている。大きにバラつきはない

**シワアリ**：黒色から茶色のアリ。胸部にシワがあり，ヒアリのような光沢はない。胸部  
前方は角ばり，腹部側には小さなトゲがある。大きにバラつかない

**オオズアリ**：赤茶色から黒色のアリ。頭部や胸部にシワがあり，ヒアリのような光沢はない。  
胸部前方はやや角ばって盛り上がり，腹部側にトゲがある。大型と小型の2型の大き  
さのアリがいて，中間の大きさのものはいないことでヒアリと見分けることができる

（橋本佳明 兵庫県立大／兵庫県立人と自然の博物館）

[参考] ※出典：橋本佳明 兵庫県立大／兵庫県立人と自然の博物館

「ヒアリとアカカミアリの疑いがあるアリの1次スクリーニング手順」より抜粋

## アリ類腹柄節の形態

### 腹柄節が1節



オオハリアリ

トビロケアリ

### 腹柄節が2節

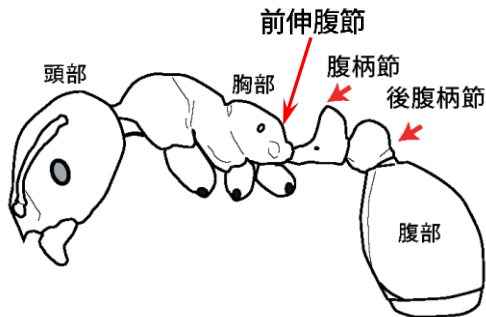


アミメアリ

オオシワアリ

腹柄節：胸部と腹部の間にある節構造。腹部第2節と第3節が変化したもの

\* アリのなかまは腹柄節が1節のものと2節のものに、大きく分けられる。



## アリ類の前伸腹節刺の形態



アミメアリ



ハリフトシリアゲアリ



オオズアリ



トビロケアリ

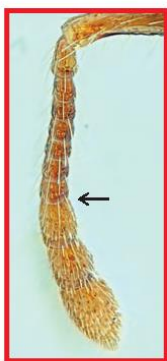
■ 前伸腹節刺有り

■ 前伸腹節刺無し

\* 前伸腹刺が不明瞭なアリもいるので、識別には注意が必要

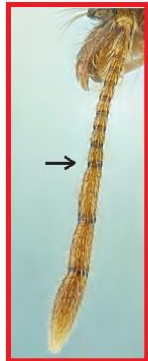
前伸腹節：アリでは腹部第1節は胸部と融合しており、見かけ上、胸部の一部になっている

## アリ類触角の形態



アミメアリ

触角：11節  
こん棒部：3節



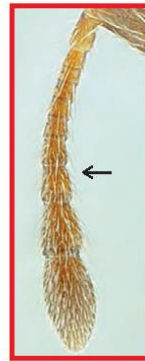
オオズアリのなかま

触角：12節  
こん棒部：3節



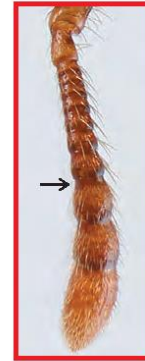
クロヤマアリ

触角：12節  
こん棒部：なし



シリアゲアリのなかま

触角：11節 (まれに10節)  
こん棒部：2~4節 (まれに不明瞭)



シワアリのなかま

触角：11節~12節  
こん棒部：3節節



オオハリアリ

触角：12節  
こん棒部：なし

■ こん棒部有り

■ こん棒部無し

## <サンプル採取>

簡易同定（スクリーニング）の確度を高めるには、サンプルを採取する必要があります。また、最終的に専門家に同定を依頼する場合にも、適切なサンプルの採取が不可欠です。

### 【手順】

#### 1) 市販のエアゾール式殺虫剤で殺虫処理します。

※スプレーでアリを吹き飛ばしてしまう恐れがある場合などは、即効性の液剤を農薬用の噴霧器等で散布する方法もあります。

※アリが集団で発見された場合で、すべて殺虫することが難しい場合などは、集団の近くに誘引餌（スナック菓子等）を置いてアリが集まるのを待ってから殺虫する方法もあります。

#### 2) 殺虫したアリ個体をピンセットやぬれた綿棒などで丁寧に採取します。

※死んでいても針が刺さることもあるので素手で触らないこと。

※なるべく複数個体を採取し、特徴の判り易い大型のものをできるだけ集めます。

#### 3) 採取した個体はアルコール（消毒用エタノール）の入った小瓶やフィルムケースに入れます。

※きちんとフタを閉めて保存します。乾燥状態の保管は個体が壊れ易くなります。

※セロテープに貼り付ける方法は顕微鏡での確認が難しく、また剥がすにも個体が壊れ易く、同定には適しません。

※アリの営巣が発見された場合など、薬剤による刺激が危険と思われる場合は、無理に採取することは避け、環境事務所や県、市町村等の関係機関に連絡してください。

### 【準備する資材等】

- ・市販のエアゾール式殺虫剤、液剤等（遅効性でないもの）
- ・液剤を使う場合は必要に応じて農薬用噴霧器
- ・ピンセット（先端の細いもの）又は綿棒
- ・サンプル瓶（代用となる小瓶、フィルムケース等で可） ※蓋がしっかり閉まるもの
- ・70%以上濃度のアルコール（市販の消毒用エタノールで可）
- ・ゴム手袋 等

### 【専門家による同定】

簡易同定（スクリーニング）で、「ヒアリの可能あり」と判断した場合は、採取したサンプルを専門家に提出して同定を依頼します。

#### <同定依頼の窓口>

- ・中国四国地方環境事務所 野生生物課 ☎086-223-1561
- ・岡山県 環境文化部 自然環境課 ☎086-226-7310
- ・最寄りの市町村担当課